

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| □多様な主体との連携による豊かな土壌づくり
..... 1P | □NPO現場視察研修..... 2P |
| □「効果的な通いの場」マニュアル検討会議
..... 2P | □2021年度ちた未来塾活動報告会 3P |
| | □愛知県連携・協働促進事業 3P |
| | □サポちたインフォメーション..... 4P |

多様な主体との連携による豊かな土壌づくり

旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。本年も変わらずご愛顧のほど、宜しくお願い申し上げます



さて、前号に続き「まちづくり型福祉」をご紹介します。

みなさまもご存じの通り、知多地域には5市5町それぞれが独自の政策をもって自治を運営し、私たちはその恩恵を受けて暮らしています。

しかし、私たちの暮らしのすべてが、その限りではありません。そこで「まちの中で普通に暮らしたい」を叶えるため、私たちNPOは「困ったときはお互い様」の地域支援の輪を広げていこうと立ち上がり、今もなお、新たなサービスが増え続けています。



この精神を受け継ぎ、NPOの中間支援組織であるサポートちたの役割は、いかだをつなぐロープ（上図）です。つまりネットワークキングそのものであり、つながり続けるための土壌づくりなのです。この“土壌づくり”の一つに、企業による社会貢献活動との連携があります。これら多様な支援

を地域のNPOへお届けしています。

- ① (N) ボラみみより情報局「みみちゃんお届け便」を通じて、(株)大塚商会様より業務用パイプクリナー
- ② (認N) 日本NPOセンターから、(N) ボランティアネイバーズを通じて、明治ホールディングス(株)より明治製菓株主優待のお菓子
- ③ WEB「Amazonみんなで応援」プログラム上のサポートちたAmazonみんなで応援ほしいものリストを通じて、絵本やお菓子、文具等
- ④ (株) RandTカンパニー出資「ベティ基金」を通じて、助成事業および受領交流会の企画運営
- ⑤ 三菱UFJ銀行半田支店では、SDGsの視点で、寄付贈呈を2020年にスタート。行員一人ひとりが地域活動の実情を把握し、団体とともに必要な支援の在り方を考える際の情報提供

以上、現時点での取組紹介です。さらに、昨年末アマゾンジャパンより、(一社)第三者組織評価センターへ、「グッドガバナンス認証団体」への寄付企画があり、当法人も受領することができました。これからも多くの地域実情を収集し、多くのセクターとの連携促進を行うことで、より豊かな土壌づくりのために使わせていただきたいと思います。市野恵

サービ斯拉ーニング情報交換会

日本福祉大学教育プログラム「サービ斯拉ーニング」の目的をはじめ、学生の受け入れやその活動の現状について、SL担当教員も交えて情報交換を行います。本プログラムに関心のある方も是非、ご参加ください。

日時 2月8日(火) 10:00~12:00
会場 知多市民活動センター 2階 会議室1, 2
参加費 無料
申込 2月1日(火)までに、担当:山森、江端へ

■愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業 「効果的な通いの場」マニュアル検討会議

2019年度から、愛知県より受託し、3カ年計画でスタートした「高齢者地域コミュニティ参加促進事業」。「通いの場（※1）」が抱える課題、「男性の参加が進まない」、「利用者の固定化」などの解決をめざし、様々な事業を行ってきた。県内から集まった、その効果や結果を愛知県が集約し、効果的な通いの場の提案をマニュアルとして、各市町村へ普及することを目的としている。

10月に、マニュアル作成のための、第1回検討会議が開催された。マニュアル検討会議は、愛知県高齢福祉課を座長とし、日本福祉大学 末永和也先生、同事業を受託している県内の5団体（（N）ライフステーションあいち（名古屋市）、（一社）地域社会福祉サービス支援機構（一宮市）、（N）まごころ（瀬戸市）、（N）楽笑（蒲郡市）、当法人（知多市））及び、受託団体の所在市町の福祉課職員で構成されている。これまでの2年半の取組内容及び、これにより得られた知見やアンケートの結果から、各団体で意見交換を行った。

通いの場の抱える課題への、対応方法のポイントは、以下の通り。

- 広報について、特定の者を対象としてロコミ、直接の声かけ、チラシ配布などに一定の効果。一方で、不特定多数を対象として、チラシ配架やポスター掲示は十分な効果を発揮できず
- 男性参加促進については、「ものづくり」、「デジタル機器」、「競技性」といった男性が興味を惹きそうなテーマを選定する
- 参加者の固定化防止については、企画内容の多様化や、コーディネーターによる居心地の良い雰囲気づくりが、一定の効果を生む
- 運営スタッフの確保・育成について、自治会役員や民生委員、近隣のNPOといった外部の地域資源や通いの場の参加者の中から、積極的に運営スタッフを確保していくことがポイント
- コーディネーターについて、直接の声掛けによる参加者勧誘及び、イベント当日の居心地の良い雰囲気づくりの点で、特に重要な役割
- コロナ禍への対応について、オンラインを活用した従来の対面型の通いの場とは異なる、「新しい生活様式」に対応した実施方法の方向性に道筋。オンラインツールに興味のある高齢者（特に男性）に一定の訴求効果

今後は、下半期の取り組みで得られた知見を加筆し、年度内を目途に、マニュアルを確定していく予定。月に1度の通いの場のイベントは、3月まで引き続き行う。当法人では、3月5日（土）に、3年間の集大成として、全国の子ども食堂をサポートする活

動を行っている、（N）全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長の、湯浅誠氏を招き、講演会「これからの時代の居場所づくり」を開催する。多世代交流拠点として、つながり続けるために必要な力とは何かを、講師の話から考えたい（詳細は、4ページ参照）。（安藤）

（※1）「通いの場」とは
介護予防を推進するため、様々な活動を通じて仲間と楽しんだりリフレッシュしたりと、日々の生活に活気を取り入れてもらうために地域の高齢者が集う場のこと。

■NPO現場視察研修

当法人では、行政職員や、民生委員等の地域の役員を対象に、地域のニーズを知る機会として、また地域の課題を共有するためのきっかけづくりとして、コロナ禍における対策を備えつつ、様々な目的に応じた研修の企画・運営を行っている。

11月26日、29日と2日間に渡り、知多市採用2年目職員の研修を行った。本研修は、地域課題に取り組みNPOから直接話を聞き、行政職員として「自分たちの役割とは何か？」を考えることが目的である。

1日目は、（N）知多地域成年後見センターと、

（N）市民大学ちた塾より、設立の背景や経緯、これまで行ってきた行政との協働の事例などの話を聞いた。2日目は、（N）ゆいの会と、南粕谷ハウスへ

訪問し、現場の声を直接聞き、実際の活動を見ることができた。

見学後のグループワークでは、参加者それぞれが感じた「行政職

南粕谷ハウスでの研修の様子

員としてできることは、何か？」を共有し、そこから見えてきた「なぜその活動は、市民に必要とされているのか？」、「なぜ協働が必要なのか？」を再確認した。参加者からは「超高齢化社会などの社会背景から、『困ったときはお互い様』のネットワークを構築することが、市民の生活を豊かにするために、必要であることがわかった」との声や、「行政が事業として実施する何年も前から、地域で支える仕組みがあったことを知った」などの感想があった。

また、11月5日に、一宮市市民活動支援センターの「オンライン・ヴァーチャルNPO現場見学バスツアー」、11月16日に、知多市東部地区民生児童委員協議会研修を開催した。（安藤）

■知多市若者チャレンジ支援事業 2021年度ちた未来塾活動報告会

12月18日、ちた未来塾（※2）の今年度の活動報告会を行った。今年度のちた未来塾は、7月に、知多市男女共同参画行動計画の行動プランをベースに、まちづくりや社会参画について、自分は何が大切だと思うか、自分には何ができるかを考え、8月に、三重県いなべ市とオンラインでつなぎ、「にぎわいの森」を中心としたまちづくりや、市民に行動してもらうための広報づくりについて学び、11月に、いなべ市へ

フィールドワークに行き、市民や近隣にある企業との連携・協働がうまくいっている、いなべ市のまちづくりを体感した。



11月：いなべ市見学の様子

それらを踏まえ、塾生が自分の出身市町の魅力や広報を見直したり、調べたりして、それぞれに伝えたい内容で広報紙を作成し、活動報告会で発表した。広報紙を作成したことで、改めて自分の出身市町のよいところを考え、新たな魅力を発見でき、自分の地域をもっと好きになるような機会になった。しかし、一方で「伝える」ために、どう表現したらよいかについては、悩んだ塾生も多かった。

また、活動報告会は、公開講座とし、塾生やサポーターだけでなく、まちづくりやちた未来塾、若者の社会参画に興味のある人にも参加してもらい、グループワークも行った。グループワークでは、作成した広報紙へ、アドバイスをもらったり、今年度の活動を通しての振り返り、“自分自身の気づき”、“他の人の気づきからの気づき”、そして、



12月：グループワークの様子

“まちづくりに参画するために、明日からできること”の共有をした。多世代でまちづくりについて話すことも、参加者にとって、良い刺激となった。

塾生からは、ちた未来塾を通して感じた、まちづくりについて、「見方が変わった」、「難しく考えなくてもよいことがわかった」、「誰かがやるものと思っていたが、自分もやりたいと思うようになった」、「もっと知りたくなった」など、全員から前向きな声があがった。

最後に、塾長である、吉村輝彦先生（日本福祉大

学教授）から、今年度のまとめとして、「実際に、現場に来訪することで、新たな気づき生まれ、逆に、自分の当たり前の風景の価値にも気づく」、「イノベーションは、ワクワク、ドキドキから始まる」、「多様性を楽しむ縁から、未来が広がる」ことなどが、強調された。（早川）



活動報告会参加者の集合写真

（※2）「ちた未来塾」とは知多市若者チャレンジ支援事業で、若者のいろいろなチャレンジを応援する。フィールドワークでの体験や、塾生の仲間・サポーター（ちた未来塾の卒業生）と語り合いながら、未来を描くための「考える種」を見つける。

■愛知県連携・協働促進事業

多様化・複雑化する地域課題を解決するために、NPOと行政だけではなく、大学、企業など多様な主体との連携が求められていることから、市民協働担当課の行政職員や市民活動センターなどの職員を対象に、連携・協働をつなぐコーディネーターの養成研修と、連携・協働して、地域課題を解決するための会議（地域円卓会議）を実際の体験しながら学ぶ研修を、愛知県から、（N）ボランティアネイバーズ、（N）ボラみみより情報局、当法人の三者で受託し、実施した。コーディネーター研修、全4回、地域円卓会議研修、全5回が終了した。

2つの研修を通して見えてきた、これからの連携・協働のあり方や、そのために、コーディネーターや地域円卓会議が担う役割を、報告書にまとめていく。（早川）



連携・協働のための「地域円卓会議」研修の様子

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せください。

■知多半島フットケアサポート会 設立総会

特別講演「介護視点で足をみる大切さ」

知多半島住民の足の健康を守るための、啓発活動・足の病気の早期発見・早期治療・合併症予防について、多職種が協力し合いながら取り組む活動をする、知多半島フットケアサポート会が設立総会を開催し、特別講演と交流会を行う。

〈日時〉1月9日(日) 13:00～15:10

〈場所〉オンライン(Zoom)

〈講師〉大場マッキー広美氏(一社)フットヘルパー協会)

〈対象〉関心のある方ならどなたでも

〈参加費〉1000円(正会員は無料)

〈その他〉一緒に活動、もしくは、サポートする正会員も募集

〈問合せ・申込〉知多半島フットケアサポート会(担当:長利(おさり))
メール chitafootcare@gmail.com

■【スタッフ急募】(N)だいこんの花

(N)だいこんの花では、経理スタッフを募集している。詳細は、問い合わせを。

〈業務内容〉経理等(週3日程度)

〈対象〉パソコン操作ができる人

〈問合せ(N)だいこんの花 旭南(担当:荒木)

☎0569-47-8080

■【助成金情報】ベティ基金

(株)RandTカンパニーの出資による基金。制度によらない障がい者福祉活動を行う、ボランティア団体・NPO法人を応援し、地域の障がい者支援に役立ててもらふことを目的とする。

〈応募制限〉知多半島で活動し、障がい者支援を行う団体

〈募集期間〉1月1日(土)～3月31日(木)

〈助成時期〉5月

〈選考方法〉審査委員会(4月開催)にて決定

〈HP〉<https://sapochita.wixsite.com/betty>

※申請書は、ホームページよりダウンロード可能

〈その他〉年3回募集、11月に出资者との交流会あり

〈問合せ・申込〉(N)地域福祉サポートちた(担当:江端)

☎0562-33-1631 FAX0562-33-1743

メール spchita@ams.odn.ne.jp

■2021年度愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業 「もしもの時のために人生会議してみませんか？」

「人生会議」とは、もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、家族や信頼できる人たちと話し合い、共有する取組。元気な今だからこそ、自分自身で考え、最期の時まで、自分らしく生きるために、家族や大切な人と向き合う時間を持ってみませんか？

〈日時〉1月27日(木) 10:00～11:30

〈場所〉知多市市民活動センター 会議室(メイン会場)、
つつじが丘3ハウス(サブ会場・オンライン視聴)

〈対象〉関心のある方ならどなたでも

〈参加費〉無料(要申込)

〈定員〉知多市市民活動センター 会議室:20名
つつじが丘3ハウス:15名

〈締切〉1月20日(木)

〈問合せ・申込〉(N)地域福祉サポートちた(担当:安藤)

☎0562-33-1631 FAX0562-33-1743

メール spchita@ams.odn.ne.jp

■2021年度愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業 講演会「これからの時代の居場所づくり」

多様化する社会のニーズや高齢化社会、コロナ禍など、様々な課題の中で、居場所がこれからも多世代の交流拠点として、つながり続けるために必要な力とは何かをうかがう。

〈日時〉3月5日(土) 14:00～15:30

〈場所〉知多市市民活動センター 会議室、
オンライン(Zoom)

〈講師〉湯浅誠氏(社会活動家、(N)全国こども食堂支援センターむすびえ)

〈対象〉関心のある方ならどなたでも

〈参加費〉無料(要申込)

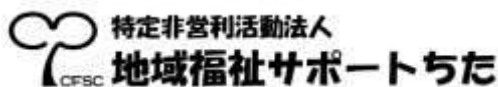
〈定員〉知多市市民活動センター 会議室:20名
オンライン(Zoom):50名

〈締切〉2月28日(月)

〈問合せ・申込〉(N)地域福祉サポートちた(担当:安藤)

☎0562-33-1631 FAX0562-33-1743

メール spchita@ams.odn.ne.jp



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階
TEL 0562-33-1631 FAX 0562-33-1743
メール spchita@ams.odn.ne.jp



◆地域福祉サポートちた

HP: cfsc.sunnyday.jp/

FB: facebook.com/sapochita/

◆手づくりカフェAda-coda

HP: cfsc.sunnyday.jp/01-adacoda/

FB: facebook.com/Adacoda.cafe/